



# ふれあい



地域のつながりの強さが  
災害での強さに!!

## …子育てサロン活動紹介…

～東広島市社協は子育て家族を  
応援しています!～

(関連記事: 4～5)

▲八本松小学校区住民自治協議会 避難所開設・運営訓練 (高齢者疑似体験グッズを着用した要配慮者役の住民を誘導する様子)

### … も く じ …

- 「障害をもつ人と家族の防災・避難についての学習会」を開催しました! … 2
- 「夏の一斉訪問活動」一歩踏み込んだ「見守り活動」をするために … 3
- 「民児協だより」(福富地区) …… 3
- 特集 子育てサロン活動紹介  
～東広島市社協は子育て家族を応援しています!～ …… 4～5
- 平成27年度事業報告・決算報告 …… 6
- じぶんの町をよくするしくみ「赤い羽根共同募金」 …… 7
- 寄附・義援金のご報告 …… 7
- お知らせコーナー …… 8

## 八本松小学校区住民自治協議会 「避難所開設・運営訓練」開催

住民自治協議会による「避難所開設・運営訓練」が市内で初めて開催されました。

当日は、要配慮者支援班などの4つの班に分かれて大地震により避難してきたという想定で避難者の対応をしました。その他にも関係機関による防災講義(三角巾や簡易トイレ、間仕切りの作り方)や参加者同士で意見交換を交わし交流を深めました。

※記事はページ2に続く

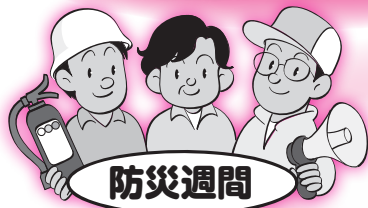


この広報紙は赤い羽根共同募金の  
配分金を活用しています。





8月30日～9月5日は  
「防災週間」



「防災の日」及び「防災週間」では、各地域で防災訓練や研修会が開催され、防災についての知識や意識を高める行事が行われています。この機会に地域で開催される防災についての行事に参加したり、これまで起きた災害や、身の回りの危険な箇所、また避難場所や避難経路等を確認して、災害にしっかり備えましょう。

9月1日は  
「防災の日」

## 「障害をもつ人と家族の防災・避難についての学習会」を開催しました!

7月13日に東広島市心身障害児者父母の会主催で防災の学習会が開催されました。当日は、会員や広島国際大学の学生が参加し、東広島市の災害時の体制や避難情報の入手の仕方や避難方法、避難行動要支援者の支援について学習しました。

学習会の終わりには、非常食を試食しながら災害への備えについて日頃からできることについて参加者同士で話しました。



▲市の防災体制について  
(市危機管理課より)



▲非常食の試食



▲避難所での生活に  
備えて簡易トイレ  
の説明

ホットと安心  
防災  
ワンポイント  
情報

### ■避難情報・気象情報を入手する

#### ・東広島市防災情報等メール配信サービス

登録をいただいた方に、東広島市から防災情報等を、携帯電話やパソコンに無料でメール配信するサービスです。

#### 【登録方法】

- (1)携帯電話やパソコンから登録用アドレスへアクセス
- (2)アクセルすると登録用画面が表示されます。
- (3)メール作成画面が表示されるので、そのまま送信
- (4)登録完了のメールが届きます。

#### ・緊急告知ラジオ

FM東広島放送の電波を利用した、緊急告知システムで災害時には自動で電源が入り、東広島市域の防災情報が放送されます。

【配布・申込み窓口】危機管理課（市役所本館3階）

### ■自宅での安全対策

#### ・家具の移動や固定の徹底

人の出入りが少ない部屋に家具を移動させ、地震の時に家具が倒れないように固定をしておく。

※上記は一例です、家族や地域の中でも災害に対してどのような備えが必要か話し合ってみましょう。  
※点線に沿って切り取って、みんなが見える所に貼っておきましょう。

### ■安否確認方法を決めておく

(災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板)

#### ・災害用伝言ダイヤル (171 にダイヤル)

地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

【体験利用日】

毎月1日及び15日

正月三が日 (1月1日～1月3日 24:00)

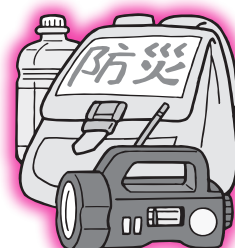
防災週間 (8月30日～9月5日)

防災とボランティア週間 (1月15日～1月21日)

#### ・災害用伝言板

携帯電話・PHSのインターネット接続機能で、伝言を文字によって登録し、携帯電話・PHS番号をもとにして全国から伝言が確認できます。

※スマートフォンでのご利用については、各社のページでご確認下さい。







# 一歩踏み込んだ“見守り活動”をするために

## “夏の一番訪問活動”



◀ 講演会の様子



▲ 訪問の打合せをする「福祉委員」の様子

6月4日、安芸津町風早にある「風早地区社会福祉協議会」の主催で、77歳以上の高齢者241名を対象に「夏の一番訪問活動」が開催されました。

本格的に夏を迎える前に、熱中症の予防啓発を第一の目的に、水入りのペットボトルなどを持って高齢者宅を訪問するこの活動は、小地域（住民自治協議会単位の、更に小さな地域単位）ごとに出発されている「福祉委員」に、日々の見守り活動を、一歩踏み込んで行ってもらうための関係作りも目的に開催されています。

当日は「庄原市生活支援コーディネーター 上田正之氏」を講師に迎え、「風早で暮らす～ここで暮らし、ここで逝く。そのためにすること～」と題して、安心して暮らせる風早にするためには今、何が大切なのかという視点からご講演いただき、日々の活動の大切さを、一歩踏み込んで考えて頂ける時間となりました。

### 民児協だより 東広島市民生委員児童委員協議会

### from 福富地区

### 精神保健福祉について学習



福富地区民生委員児童委員協議会の中で、「障がい・心の病で苦しんでいる方々の見守り活動をしているが、まずは精神保健福祉に関する正しい知識を知ることがから始めよう」という意見が出ました。  
6月14日に、山崎正数医師を講師に地域活動支援センターときわで行われた学習会に参加しました。

以前精神分裂病と言われていた「統合失調症」について学び、若年発症（思春期〜30歳頃）というお話しを聞いて、つい親の立場で考えてしまい心が痛みました。  
家族はもちろん、地域の理解が必要、と感じました  
が：委員として何が出来るか、今後も研修を重ね、情報の提供やどう寄り添っていきけるのか、見つけていきたいと思えます。

※「民児協だより」を、年2回（9月号・3月号）掲載します。

